

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.3.15 No. 191 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地 3月11日 砂袋の投下訓練

3月11日、横田基地所属のC-130Hが2機編隊で飛行、パラシュートで17時11分、12分に砂袋の投下を行いました。この他、急旋回、タッチアンドゴー等を、21時40分頃まで訓練していました。



RC-135U 偵察機コンバット・セントも着陸

11日には、米空軍の偵察機RC-135U コンバット・セント（右写真）が17時すぎ着陸しました。現在RC-135Uは2機しか存在していないそうです。偵察機には他に、RC-135S、RC-135V、RC-135Wなどがあります。



また、10日午前中に来た米空軍人員輸送機C-40Cが17時すぎ離陸しました。17時半ごろ、厚木基地のMH-60Sがローアプローチ。KC-135R テネシー州空軍所属も飛来しました。

オスプレイ 伊江島で離着陸 1793回 1日最多 90回 即時中止求める

沖縄県の地元紙によると、2012年10月、普天間基地にオスプレイ配備以降、伊江島補助飛行場で行われた離着陸訓練は合計111日、1793回に上ったことが、3月1、2日の両日に伊江島で開かれた平和学習会・抗議集会の中で報告されました。

報告したのは名嘉實村議で、配備直後の2012年10月は11日間に364回の離着陸訓練が実施され最も多かったと指摘。追加配備後で6つの新着陸帯が完成した昨年9月と10月で552回、10月21日は4機飛来し、1日だけで90回を記録したと説明。また、「今年1月は12日間106回のうち夜間訓練が82回、2月は6日間で82回のうち夜間が52回。最近は特に夜間訓練がひどい。回数が減っても訓練時間は長く、住民生活に支障が出ている」と訴えました。同飛行場から約600メートルの酪農農家の乳牛が、昨年6月と11月に早産や死産し、今年2月には双子が死産したことも報告。



集会では、同集会を主催した「わびあいの里」の山内徳信理事長や反戦地主会の照屋秀伝会長、へり基地反対協議会の安次富浩代表らがあいさつ。最後に全員で「オスプレイの伊江島での訓練の即時中止と、沖縄配備の撤回・撤去を求める抗議決議」を採択しました。

CV22オスプレイの日本への配備検討を断念すること 及び
普天間基地のMV22オスプレイ24機すべてを米国へ持ち帰ることを
日米政府と米空軍に要求する緊急署名 にご協力ください！

横田基地の撤去を求める西多摩の会（問い合わせ先 042-555-1911）

サムライ戦争に行く 米軍横田基地HPに写真がたくさん (No. 191 の裏面)

運用即応演習（仮想戦闘環境における基地の機能テスト。テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応体制をとることを訓練するもの。）を実施し、監査するというサムライ即応監査が、3月3日（月）から3月7日（金）までの5日間（24時間体制）、米軍横田基地で行われました。米軍横田基地HPに、「サムライ戦争に行く」など、写真がたくさん掲載されています。



沖縄米軍機トラブル続発 ①オスプレイから白煙 嘉手納基地に緊急着陸

米海兵隊普天間基地所属のMV 22 オスプレイが、3月2日午後0時半ごろ、嘉手納基地に緊急着陸しました。着陸後、機体右側のエンジン部分から白煙が上がり、消防車両2台が駆け付ける様子が目撃されたと地元紙は報じています。同機は翌3日正午ごろ同基地を離陸、普天間基地に戻りました。緊急着陸したのは2012年10月に配備された機体。米海兵隊は、沖縄防衛局に「通常訓練中に予防措置として着陸」「乗組員の傷害や航空機の損害はなかった」と説明。

沖縄県平和委員会の大久保康裕事務局長は「オスプレイのエンジンナセル（たる型のカバー）にはオイルがたまりやすく、熱によって引火したのではないか。配備前も火災事故をたびたび起こしており、問題がまったく改善されていない証拠だ」と厳しく指摘しています。

田仲康栄嘉手納町議（共産）は「原因究明までのオスプレイ全機の飛行中止はもちろん、構造的にトラブル回避が不可能な欠陥機オスプレイは即時全機撤去以外にない」と話しています。

②嘉手納基地 F 15 戦闘機 風防ガラス重さ113キロ超が 訓練中落下

米空軍嘉手納基地所属のF 15 戦闘機が3月4日午前、通常訓練中に、同基地の北西約150キロの海上で風防ガラスと呼ばれる操縦席のカバーを脱落させました。同基地報道部によると落下場所は訓練空域内でパイロットにケガはなく、風防ガラスの可動部分のみが落ちたそうです。風防は「キャノピー」と呼ばれ、緊急時の脱出時に着脱が可能な部品で、アクリル製。同基地は、キャノピーの重量を「250～300ポンド（113～163キログラム）」と説明しています。

目撃者によると、同機は午前10時前に離陸し、同10時35分ごろ同基地へ着陸。着陸体勢時に風防ガラスはなく、消防車両約5台が滑走路周辺に待機していたといいます。着陸後、滑走路付近で整備士などが機体を確認。同11時ごろ、けん引され整備用格納庫に入りました。

県によるとF 15 戦闘機が配備された1979年以降、部品などの落下は12件、そのうち風防ガラスの落下は1983年、1997年、2002年に次いで4件目です。

③普天間基地の攻撃ヘリAH-1W 脚部破損 夜間の離着艦訓練で

防衛省沖縄防衛局は3月6日、米海兵隊普天間基地所属の攻撃ヘリコプター「AH-1W スーパーコブラ」が5日夜の訓練で、海軍揚陸艦「デンバー」に離着艦した際に、脚部を破損したと発表しました。けが人はなし。海兵隊によると、同機は沖縄近海で夜間の飛行訓練中でした。

機体は揚陸艦とともに米海軍ホワイトビーチ（うるま市）にあり、甲板上で原因調査を行った後、普天間基地にヘリを運び修理するとしています。

攻撃ヘリコプターは、米軍横田基地にもあるUH-1N汎用ヘリをベースに開発されたそうです。